



令和7年度

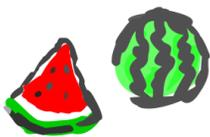
夏休みの作品募集

富士市立富士中央小学校
作品は8月25日(月)提出

部門	応募名(主催)	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
国語	読書感想文コンクール (富士市教育委員会)	<p>○子どもが本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験し、読書の習慣化を図る。</p> <p>○より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。さらに、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。</p>	<p>●小学校低学年の部(1、2年生)700～800字以内</p> <p>◇自由読書・・・自由に選んだ図書 (フィクション・ノンフィクションを問わない)</p> <p>◇課題読書 「ライオンのくいのネズミ」 (中央公論新社) 「ぼくのねこポー」 (PHP研究所) 「ともだち」 (ひさかたチャイルド) 「ワレワレはアマガエル」 (アリス館)</p> <p>●小学校中学年の部(3、4年生)1,100～1,200字以内</p> <p>◇自由読書・・・自由に選んだ図書</p> <p>◇課題読書 「ふみきりペンギン」 (あかね書房) 「パラクラバ・ボーイ」 (文研出版) 「たった2℃で・・・地球の気温上昇がもたらす環境災害」 (童心社) 「ねえねえ、なに見てる？」 (河出書房新社)</p> <p>●小学校高学年の部(5、6年生)1,100～1,200字以内</p> <p>◇自由読書・・・自由に選んだ図書</p> <p>◇課題読書「ぼくの色、見つけた！」 (講談社) 「森に帰らなかったカラス」 (徳間書店) 「マナティーがいた夏」 (ほるぷ出版)</p> <p>【低学年～高学年までの共通の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本人の自筆とする。 ●句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白箇所は、字数として数えます。 ●題名、学校名、氏名は字数に数えません。(欄外に書く) 	
	JA共済 書道コンクール (静岡県農業協同組合)	書写に親しみ、表現力の向上を図る	<p>半紙の部 1年「わら」 2年「めばえ」 3年「たねまき」 4年「結実」 5年「流れる雲」 6年「生命の源」</p> <p>条幅の部 1年「やさい」 2年「すばる」 3年「せみの声」 4年「食を育む」 5年「耕す大地」 6年「不断の努力」</p> <p>楷書「○年 氏名」左側に記入 1・2年生の学年・氏名は「ひらがな」「漢字」「漢数字」いずれでも可 3年生以上は、学年は「漢数字」氏名は「漢字」アラビア数字は使用しない。 ※校内選考あり 作品返却なし</p>	○
	税に関する習字コンクール (富士納税貯蓄組合連合会)	税に興味を持ち、将来進んで納税しようとする	<p>6年生のみ 課題「税と未来」 半紙 たて書き 楷書 作品左側に(富士中央小 六年 氏名)を記入 ※校内選考あり</p>	○
	人権書道コンテスト (富士市人権擁護委員協議会)	人権をテーマとした書道作品を書くことを通して、豊かな人権感覚を身につける	<p>3年生以上</p> <p>毛筆で半紙に縦書き 書体：自由</p> <p>題字 「思いやり」「助けあい」「ともだち」「しんせつ」「なかよし」</p>	○
	下水道いろいろコンクール (富士市役所 上下水道営業課)	9月10日の下水道の日にちなみ、下水道に対する理解を深め、下水道の健全な発達に役立てる	<p>作文 原稿は自筆(パソコンは不可) 作品には、題名・学校名・学年・氏名を明記 1～3年生 400字詰め原稿用紙2～3枚以内 4～6年生 400字詰め原稿用紙3～4枚以内</p> <p>標語 特に制限なし 官製はがきもしくは、はがき大の用紙につき 作品1点を記入 (1人何枚でも応募可) 作品には、学校名・学年・氏名(フリガナ)を明記 (応募票貼付でもOK)</p> <p>書道 半紙縦使用 作品の左端に学年・氏名を墨書き (学校名不要) 1～3年生 「下水どう」(2行書き) 4～6年生 「下水道の役割」(2行書き)</p> <p>※作品の返却なし ※全応募作品を市ウェブサイトで展示します。学校名、学年、氏名の個人情報を公開することに同意される場合のみ、応募してください。</p>	○
			※MOA児童作品展での書写の応募はありません。	

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
家庭科	親子レシピコンテスト (静岡県ガス協会)	親子で料理をする中で、調理を通してできるエコについての意識を高める	以前学校でプリントを配付しましたが、学校では募集しません。 応募する場合は、 個人での応募 をお願いします。 募集期間は2025年7月18日(金)～9月5日(金)	
	JA共済 交通安全 ポスターコンクール (静岡県農業協同組合)	交通安全に対する意識の向上を図る	全学年・「元皇土徒に交通安全の啓蒙を呼びかけるもの」または「自動車自転車などの運転する人に交通事故の防止を呼びかけるもの」 校内選考あり 注意事項：交通ルール上正しい表現をする (例：シートベルト、チャイルドシート、ヘルメットの正しい着用・歩行者右側通行・信号機の色配列など注意) 四つ切サイズ(約54cm×約39cm)、画材制限なし	○
図画工作	下水道いろいろコンクール (富士市役所 上下水道営業課)	下水道に対する興味を持ち、理解を深め、下水道の健全な発達に役立てる	全学年 「日常生活の中で下水道に関する事柄について自由に表現する」 B4～A2判以内(八つ切り、四つ切り 可) 画材の指定なし 注意事項：ポスターに文字を入れる場合は、「9月10日下水道の日」のみ入れてよい。 作品裏面に、学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 ※出品された作品は返却されません。	○
	地球温暖化防止ポスター (富士市環境部 環境総務課)	地球温暖化防止を啓発する	4・5・6年生 注意事項： <u>地球温暖化防止を呼び掛ける標語(言葉は自由)を必ず書く</u> 四つ切り画用紙を縦に使用 描画材料は、絵の具またはポスターカラー 裏面に学校名・学年・氏名(フリガナ)を明記 →【応募票を裏面に貼る】	○
	①ポイ捨て禁止ポスター ②のこさず食べようポスター ③食品ロス削減ポスター (富士市環境部 廃棄物対策課)	食品ロスの削減推進とごみ減量、リサイクルの推進	①ポイ捨て禁止ポスター部門：1・2・3年生 注意事項：ポイ捨て禁止に関する文字を必ず入れる 四つ切り画用紙を縦に使う 画材の指定なし(立体物を貼り付け不可) 裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 →【応募票を裏面下部に貼る】 ②のこさず食べようポスター部門：1・2・3年生 注意事項：「食べきり」の啓発に関する文字を必ず入れる 四つ切画用紙を縦に使う 画材の指定なし(立体物を貼り付け不可) 裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 →【応募票を裏面下部に貼る】	○
	MOA児童作品展(絵画) (MOA美術館)	子供の豊かな感性、のびのびとした表現を奨励する	全学年：テーマ自由 四つ切サイズまたはB3(作品が小さい場合は、B3サイズの台紙に張る。)厚紙不可 水彩絵の具・パステル・カラーペン・クレヨン(鉛筆・色鉛筆だけで描いた作品は不可) ポスター、工作に近い作品、破損しやすい作品は応募不可	○
	(どうぶつの絵コンクール)		以前学校でプリントを配付しましたが、学校では募集しません。 応募する場合は、 個人での応募 をお願いします。	
算数他	統計グラフ (静岡県教育研究会)	日常生活の体験や事象を統計的に表現する技能を育成し、統計の正しい見方や考え方の普及向上を図る	B2判(72.8cm×51.5cm)の画用紙またはケント紙 1枚 希望者には配付(先着順)(事前に説明会を行います。) 題材は自由 4年生以下は子どもが自ら観察または調査した結果をグラフにする 裏面の板張り(パネル仕上げ)や表面のセロハンカバー、2枚以上にわたるシリーズもの、生成AIを利用して制作した作品などは不可 観察・調査の記録または取材資料はA4判の用紙に記載 なお、取材資料が3枚以上になる場合は封筒に入れても可 詳細は学校へ問い合わせください。	

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
理科	富士市発明くふう展 (富士市発明くふう展 実行委員会)	産業発展の原動力となる発 明くふうに対する関心を高め る	科学技術的に優れ、かつ産業の振興又は、日常生活の改善に有益な 発明・くふうを行った作品。 発明・考案・意匠又は工夫作品の実物又はその模型物。 作品票を添付。	
	富士市小中学校 科学作品展 (静岡県教育研究会)	観察や実験を通し、科学に対 する興味・関心を高める	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">実験の題名 学校名 学年 氏名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめに(実験の動機) <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、この観察や実験をしようと思いついたのか、詳しく書く。 2 実験の目的 <ul style="list-style-type: none"> ・実験を通して、追求することを明確にする。 3 実験の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察では、何を実験・観察するのか、調べるものをはっきりさせる。 ・仮説を立て、どのような実験をしたら仮説が正しいと考えられるか、工夫する。 ・実験方法を箇条書きで詳しく書く。図や写真を用いることも効果的。 ・1つの実験だけでなく、関連するいくつかの実験や観察を行う。 4 実験結果 <ul style="list-style-type: none"> ・実験した結果を表や図、グラフ、写真などで表す。 5 わかったこと(実験の考察) <ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験を通して、どういったことが分かったのかを項目別に書く。 ・仮説が間違っていたときは、追加の実験を試みる。 6 反省・今後の課題・感想 <ul style="list-style-type: none"> ・この実験を通して感じたことや感想を書く。また、これからさらに調べていきたいことを書く。 <p style="font-size: small;">※A4判の用紙(無けい又は横けいの用紙)又はノートを用いてまとめる。(小学生の作品は、B5判、B4判も可能だが、なるべくA4判を用いる。)</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 注意! </div> </div>	



※この配付物(夏休みの作品応募の用紙)は、本校のホームページ(学校だよりのページ)にも載っています。